

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時	令和5年1月27日（金曜日）			開会	13:26		会議場所	別海町議会 議場		
				閉会	15:32					
委員の出欠	1 番	横田 保江	出席	6 番	大内 省吾	出席	7 番	木嶋 悦寛	出席	
	10 番	小林 敏之	欠席	14 番	佐藤 初雄	出席				
出席説明員	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		ふるさと応援・情報化推進室長			
	浦山 吉人	出席	伊藤 輝幸	出席	寺尾真太郎	出席	松本 博史	出席		
	財政課長		税務課長		防災交通課長		尾岱沼支所長			
	角川 具哉	出席	竹中 利哉	欠席	麻郷地 聡	出席	大坂 恒夫	出席		
	西春別支所長		総務課主幹		ふるさと応援・情報化推進室長代理		総合政策課主幹			
	小村 茂	出席	佐藤 亮	欠席	山田 哲哉	欠席	橋本 達也	出席		
	防災交通課防災監		防災交通課主幹		総務課主査		総合政策課主査			
	三瓶 秀憲	出席	深川 淳一	欠席	武田 聖士	欠席	金澤 亮太	欠席		
	財政課主査		財政課主査		税務課主査		税務課主査			
	佐藤 貴也	欠席	戸野 晶雄	欠席	伊藤 武史	欠席	高橋 克彦	欠席		
	防災交通課主査		防災交通課主査		西春別支所主査					
	寺澤 淳司	出席	相馬 儀彰	欠席	佐藤 政士	欠席				
	選挙管理委員会		書記長		書記					
		伊藤 輝幸	欠席	佐藤 亮	欠席					
	別海消防署		別海消防署長		別海消防署副署長		別海消防署副署長兼予防課長		別海消防署警防課長	
		山田 勝人	欠席	山桑 貴光	欠席	西塚 隆幸	欠席	太田 裕司	欠席	
	教育委員会		教育部長		教育部次長兼学務・スポーツ課長		生涯学習センター長兼中央公民館長		指導主幹	
		山田 一志	出席	宮本 栄一	出席	新堀 光行	出席	相澤 要	欠席	
	指導主幹		指導参事		学校教育課長兼学校給食センター長		生涯学習課長兼中央公民館副館長			
	稲村 和典	欠席	吉光寺 勝己	出席	池田 卓也	出席	福原 義人	出席		
	西公民館長		東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学務・スポーツ課主幹			
	小村 茂	出席	大坂 恒夫	出席	堺 啓	出席	斎藤 陽	欠席		
	学務・スポーツ課主幹		学校教育課主幹		西公民館副館長		東公民館副館長			
	恒川 敦史	欠席	堀込 美穂	出席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席		
	郷土資料館副館長		郷土資料館主幹		学務・スポーツ課主査		学校教育課主査			
	石渡 一人	欠席	戸田 博史	出席	大山 晋作	出席	高津 寛人	出席		
	生涯学習課主査他		学校給食センター主査		図書館主査		生涯学習課主任			
	上杉 大洋	欠席	平下 奈津子	欠席	吉田 美奈子	欠席	坂下 貴幸	欠席		
委員外の出席	議長	西原 浩				合計	1名			
事務局職員	主幹	入田 浩明				合計	1名			
傍聴者数	一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名			

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 7番 木嶋	13:26 開会
	出席委員4名、欠席委員1名（小林委員）、委員外1名、会期1日 挨拶
	【教育委員会所管事務調査】
教育部長 山田	挨拶及び概要説明
	<p>・昨年12月25日開催の第75回成人式は20歳を対象に、今年1月7日開催の第76回成人式は19歳を対象として、それぞれ挙行了た。</p> <p>出席者については、令和4年第75回が対象者175名のうち出席102名、令和5年第76回が対象者162名のうち出席110名ということで、率で申し上げますとそれぞれ58.29%と67.9%というような状況。</p> <p>どちらの式典についても、事前健康チェック、簡易抗原検査キットの実施、保護者等の入場制限などを行い、保護者が入れないため、ユーチューブによるライブ配信も行った。</p> <p>また、式典後の実行委員会主催事業についても、飲食の伴わないものとするなど、コロナ対策を徹底して行った。</p> <p>12月25日開催の成人式では、実行委員会で記念コンサートを実施するなど、新たな試みも見られたが、大きな混乱もなく終えることができ、新成人の責任ある行動に大変誇らしく思っている。</p>
委員長 7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
委員長 7番 木嶋	(3) 学校教育の充実について
	(特別支援の現状と今後の推進等について)
指導参事 吉光寺	・資料により説明
委員長 7番 木嶋	質疑
	<p>・実際に現場の話を聞かしていただくと、現場の声としては支援が足りないと。</p> <p>毎年要望も出すが、それに合わせた配置はしてもらえない。</p> <p>当然、先生については厳しいかもしれないが、支援に関してはもう少し予算をつけていただいて、確保していくということが必要なのではないかと。</p> <p>今は特別支援だけではなく、それ以外の通常学級の中にも支援が必要な子たちが非常に多くなってきているし、学年が上がることにそれが厳しくなったりとか、そして不登校だったりとかそういうのにつながっていくケースが非常に顕著になってきている現状の中で、教員が充実していくということが大事なんでしょうけど、支援員の先生を十分に充足させていくということが、重要なんじゃないかなと、環境を整えていくというのは重要なんじゃないかなと思うんですけど、いかがお考えか。</p>
指導参事 吉光寺	<p>・私も、支援員はまだまだ足りないと思っている。</p> <p>これは、インクルーシブ教育の推進という視点に立つと、絶対足りない。</p> <p>実は、アメリカの学校に視察に行ったことがあるが、あちらではちゃんと支援員さんの人が必要な子に対して、数人一つの教室中でもついている。</p> <p>あれが理想的な形なんだろうなというふうに思っている。</p> <p>そういう意味においては、足りないと思っている。</p> <p>昨年秋ぐらい、日本の特別支援教育はおかしいということで、諸外国から日本がいわばたたかれたような状態になった。</p> <p>これから、国も正規の配置の予算づけを検討していくことと思いますし、それからこの支援員に関しても、財政措置されていくことが考えられるので、国レベルで今後そういう動きが恐らく出てくるだろうなということを期待している中、現状の国が措置してくれているもの以上に財政措置している別海町っていうのはすばらしいなというふう感じている。</p>

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>なので、別海町としては現状、国が想定しているもの以上のものができている。</p> <p>ただ、それ以上のところは、なかなか現状では厳しい中でいろんな工夫とか、各校での先生方の努力とかで補ってくれているということをすごく感じているので、この皆さんの努力をありがたいと思いながら進めさせていただいてる。</p>
委員長 7番 木嶋	<p>・実際には、本当に足りないんだというのは、私もつくづく思う。</p> <p>だったら、別海町がモデルになって、実際にはこれぐらい必要なんだと。</p> <p>こうした取組をやることで、こうした成果が出るんだということ、きちんと報告できるようにしていくってどうか、そんなモデルをつくっててもいいのかと。</p> <p>そのために、町として財政措置をして、今はやっぱり子どもにかかるお金は何となく減らされてきている状況の中で、しっかりそこにつけていくと。</p> <p>いろんな手当は増えたりしているが、実際に教育という現場にかかるお金が本当に増えているのかといたらそんな感じはしない。</p> <p>やはり、それはしっかり取り組んでいくべきなんじゃないかなと。</p> <p>・ICTに関して、これも非常に有効に使われてると思うが、それで全てが補われて克服できているわけではないということなので、やはりそれでもさらにはじかれてしまう子どもというか、興味の向かない子ども達がそういう特性を持った子たちの中にはやっぱりいるので、そういうところをやっぱりどうしたら学習に向かっていけるのか、そういうところはさらなる研究、実施が必要なんじゃないかなというふうには思っている。</p> <p>インクルーシブ教育の実現というのは、まさしく社会地域が変わっていかなければ、その実現というのはなかなか厳しい。</p> <p>教育界だけでそれをできても、それから先がなかったりとか、それを取り巻く影響で、実現できなかつたりとかするってこともありますので、そこも働きかけとして教育委員会だけではなくて、地域に連携していくことの大切さというのを改めて考えてほしいなというふう思うが、いいかがか。</p>
指導参事 吉光寺	<p>・御指摘いただいた点は、私も非常に大事だと思っております、それこそインクルーシブなんで障害があるとかないとか関係なく、子ども達がこの地域に学んで、それで学びたいという意欲を持って学ぶ。</p> <p>そういう子ども達を育てていくことが何より大切だと思っている。</p> <p>そんな観点で、次の調査事項でのところで、また御説明させていただこうと思う。</p>
委員長 7番 木嶋	<p>(3) 学校教育の充実について</p> <p style="padding-left: 20px;">(教師力の向上～教員研修の成果について)</p>
指導参事 吉光寺	<p>・資料により説明</p> <p>秋田県大館市視察研修報告</p> <p>令和4年7月5日から7日の2泊3日、教育長以下小中学校教諭8名</p> <p>視察先は、大館市教育委員会、大館市立城南小学校、大館市立第一中学校。</p> <p>どちらも、今回は、野付、別海中央、中春別、上西春別それぞれの小学校、中学校から1名ずつということで、この選定については、今回、町内で大きい学校からということで、それで視察先については、市内の中心校ということで見てきている。</p> <p>来年度、この4校以外の4校ということだが、予算の関係で小中の8校までは出せないが、別海町教育研究協議会にも御協力いただきながら、2年間で何とか全ての学校から、行っていただきたいと考えている。</p> <p>来年度は小さい4校なので、学校規模に見合った学校をあちらの教育委員会に選定していただくという予定でいる。</p>
委員長 7番 木嶋	質疑
委員 一同	<p>・質疑なし</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について</p>

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

教育部長 山田		・12月15日に開催した第11回の総務文教常任委員会の報告以降、大きな状況変化はない。 ただ、中学3年生については、受験を控えているというようなこともあるので、今後とも、各学校に対して、子ども達の健康変化を注意深く見ていただくと。 そして、引き続き、対策の徹底をお願いするというようなことを続けてまいりたいというふうに考えている。 また、インフルエンザも流行の兆しが見えてるというようなことで、そちらの方も十分に注意していきたいと考えている。
委員長 7番 木嶋	委員 一同	質疑 ・質疑なし
委員長 7番 木嶋		議事2 その他 (3) 全国中学スケート大会への出場者について ・今月7日、8日の2日間にわたり、帯広市において全道中体連スケート大会が開催され、別海町から、中央、上風連、上西春別、上春別、西春別の5中学校から9名の生徒が出場した。 結果は新聞等でも、確認されていると思うが、西春別中学校3年生の橋本姫桜さんが3,000メートルで優勝、1,500メートルで準優勝し、輝かしい成績を収めた。 来月、4日から7日に長野県エムウェーブで開催される全国大会には、全道大会で各種目24位以内の選手は出場することになり、本町からは5校より、男子2名女子6名の合計8名が出場する。 今年度もコロナ禍での開催となるが、全国大会でも別海旋風を巻き起こしてくれるものと期待している。
教育部次長 宮本		(4) 生涯学習センターの管理及び運営（ピアノ）について ・去る12月での第10回総務文教常任委員会、第12回町議会全員協議会において、御説明し、令和4年第4回町議会定例会において、財産の取得として議決をいただいている、当センターホール用のフルコンサートピアノ購入について、改めて御報告をさせていただきます。 令和4年12月16日、財産の取得として議決いただき、同月19日、相手方である株式会社井関楽器と契約を締結。 同月業者による仮運搬、センターのピアノ庫で保管・施錠して管理していた。 今月に入り、1月23日に業者による納品のための調律を実施。 その後、調律後に納入検収検査を実施。 契約金額については、3,003万円うち消費税が273万円。 購入した備品は、スタインウェイ&サンズ社のコンサートグランドピアノ1台、モデルがD274、ドイツ連邦共和国ハンブルグ工場製。 付属品として、鍵、鍵カバー、鍵盤の汚れ拭きクロス、ピアノ用のベンチ、ピアノ用のインシュレーター、ピアノカバー、ピアノ譜面台カバー。 今後の予定としては、道内、管内の同機種の利用料金等を確認しながら、町民等が利用しやすく、適正な料金設定として、3月議会に条例改正案を提案させていただきます。 なお、町民等への正式な利用開始は、令和5年4月1日を予定している。 なお、今月1月25日水曜日から28日土曜日までの4日間、町内のピアノ教室の先生方8名により、ピアノの弾きこみを午前10時から午後5時まで実施していただいている。 また、29日には複数の演奏者が順番にピアノ演奏を引き継ぐイベントとして、ピアノマラソンというのを開催する。 時間については、午前9時45分から午後5時までを予定している。
委員長 7番 木嶋	生涯学習センター長 新堀	

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>出場者は、町内の一般・児童・生徒ともに御1人1組、6分以内、最大で54名を予定している。</p> <p>現在の状況としては、34名程度となっており、まだ空きはある。</p> <p>なお、当日の観覧については、自由に観覧できるので、時間があればご覧いただきたい。</p>
生涯学習課長 福原	<p>・令和4年度第69回別海町少年弁論大会兼ねて令和5年度少年の主張根室地区大会代表選考会について御報告させていただく。</p>
	<p>本大会については、当初、昨年11月に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、延期とさせていただいていた。</p> <p>状況も落ち着き、生徒の皆さんの練習期間も確保、それから学校とも調整をした上で、去る1月21日青少年プラザにて開催し、町内全8中学校から15名が出場し、熱弁を論じた。</p> <p>なお、大会中、感染対策として、来場者を保護者と学校関係者に限定させていただき、休憩時間中には定期的な換気等を行うなど、予防対策に努めた。</p> <p>大会結果については、最優秀賞が1名で、野付中学校3年の堤さん、優秀賞は、西春別中学校3年の庄司さんほか4名の方、令和5年度根室地区大会の本町代表として、中春別中学校2年の川西さんと上西春別中学校同じく2年の島崎さんが代表権を獲得している。</p>
委員長 7番 木嶋	閉会挨拶
	<p>教育委員会終了</p> <p>14:37 休憩</p> <p>14:47 再開</p> <p>【総務部所管事務調査】</p>
総務部長 浦山	挨拶及び概要説明
委員長 7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
総務部長 浦山	<p>・資料により説明</p>
	<p>オミクロン株対応ワクチンの集団接種は1月28日をもって終了ということになり、これからは営業日を設定した中での個別接種というふうに移っていくようになる。</p> <p>最近よくマスコミ関係で言われる、コロナについての類型ですが、2類から5類に年度明けにもなるのではないかなというようなことが言われているが、こちらについては、北海道としても、国に対して、類型の位置づけに関しては、単に2類相当にするとか、5類相当にするということではなくて、現在進めている対策や事業の必要性っていうものはどういう類型になっても必要なものは必要として残して、その方向性であるとか、ロードマップを示すということ、あるいは医療費等の公費負担の方についても、きちんと地域格差が生じないように、全額国費とするならば、たとえ5類になっても国費とするならばするということなどをきちんと検討してくださいというふうに、知事会等と連携しながら、厚生省に対し要求しているというような通知も、市町村に対して示されているので、もう少しはっきりするまで時間がかかるのかなと思うが、5類に移行したとしてもその内容が、これまでのインフルエンザの5類と同じような状況なのかということについては、もう少し注視していきたいなというふうに思う。</p> <p>下りかけになってきているコロナの状況だが、死亡者についてはやはり高齢者の死亡率というのは多いので、まだまだ楽観視しないで、状況を注視していかなければならないのかなというふうに思っている。</p>
委員長 7番 木嶋	質疑
委員 14番 佐藤	<p>・5類になるは5月以降だっという話も聞いているが、その中で、今までは費用がかからな</p>

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

	<p>かったが、これから対策等について要望をしていくという中で、現時点では費用を含めた考え方というのはどんな方向に向かうのか。</p>
<p>総務部長 浦山</p>	<p>・まず、都道府県なりの方で、知事会との連携をした形で国に対して要望していくという</p>
	<p>ことで聞いていますが、基本的に考えれば5類というのは、インフルエンザと同じような扱いになるので、個別接種で一部自己負担というような形の接種なるかと思えますけれども、その意向についても特別措置法のことを定めている感染症法の中での考え方をインフルエンザ等のことも含めて、少し見直しなんかもしていくのではないかとというようなことも検討されているようなので、単に今のインフルエンザと同じような扱いの5類になるのかどうかっていうことは、5類に移行するのは恐らく間違いないと思えますけれども、内容が同じ内容になるのかということとはちょっとまだはっきりしていないのかなというふうに見ているところ。</p>
<p>委員長 7番 木嶋</p>	<p>・他に質疑あるか。</p>
<p>委員 一同</p>	<p>・質疑なし</p>
<p>委員長 7番 木嶋</p>	<p>(2) 総務部所管分令和4年度実施計画事業の成果と今後の取組について</p>
	<p>①防災対策の推進について</p>
<p>防災交通課防災監 三瓶</p>	<p>・資料により説明</p>
	<p>コロナ禍における本格的な訓練を町として再興した年度となった。</p> <p>内容については、住民避難訓練、ふれあいトーク宅配講座、防災学習、一日防災学校の4つの訓練形態として、共同開催、職員を派遣して支援するという形をとった。</p> <p>震災体験のない児童生徒を対象として、被災直後から直面する避難所生活についてイメージアップを図れるよう備えるための防災意識の啓発に努めてきた。</p> <p>また、8月6日に、道防災総合訓練に道東地域から町として参加、それに併設した形として警察・消防・自衛隊から支援を受け、尾岱沼地区防災訓練を実施した。</p> <p>今年度の防災訓練を総括すると、1点目は、コロナ禍における本格的な防災訓練の再興、2点目は、令和4年度から6年度までの3か年に及ぶ北海道防災総合訓練構想に歩調を合わせた段階的な訓練の初年度、3点目は、福祉部協力のもと要配慮者による実働型の住民避難訓練の初参加。</p> <p>今年度の防災関連の動きについては、7月28日に道による日本海溝千島海溝周辺海溝型地震の被害想定公表により、本町の甚大な地震津波被害をこうむる可能性が明らかとなり、12月16日には、新たな後発地震注意情報の運用開始となった。</p> <p>それらの動きを踏まえ、令和5年度の防災訓練の方向性を計画している。</p> <p>防災訓練の目的は、経年変化地区を追加し見直している。</p> <p>今年度の実績・問題認識から、来年度の方向性を導き出し、防災訓練は避難所運営を担う自主防災組織が主対象であったが、コロナ禍における現下の情勢、特に感染動向を注視しながら、引き続き、防災訓練の体系的な標準化を図り、本格的な住民参加型避難訓練を追求していく。</p> <p>また、防災意識の啓発については、自助と共助、防災から減災への考え方、新たな警報等に関する防災知識の普及・浸透を図っていく。</p>
<p>委員長 7番 木嶋</p>	<p>質疑</p>
	<p>・資料の訓練状況の写真で、発電機の運転体験ということで本別海地区の写真があるが、これ室内ですよな。</p> <p>窓が開放してあるように見えるが、このままここで運転したのか。</p>
<p>防災交通課防災監 三瓶</p>	<p>・この写真を撮っている方向は全て開放されているので、換気に関しては問題ない。</p>
<p>委員長 7番 木嶋</p>	<p>・ここで運転するっていうことなんですよな。</p>
	<p>これ何かしらの強制的な排気の方法を持たなければ、ここが部屋の中の形状を持っている以上、リスクが当然あるんじゃないか。</p> <p>ガスが実際いなくても、臭いが上がっていった気分を悪くされたりだとかっていう影響が</p>

令和5年第1回総務文教常任委員会 要点記録

	ある可能性があるということで、これについてはどのように考えておられるのか。
防災交通課防災監 三瓶	・写真を撮ったカメラの方向にシャッターが設置しておりまして、実際にはそれを開放して、その状態で、外の方に引き出す形で運転する形をとっている。
委員長 7番 木嶋	・外にこれを持ちだして、シャッターを閉めた状態で運転する。
防災交通課防災監 三瓶	・シャッターは開放になる。 配電盤に繋がらなければならないので、どうしても外で開放状態での運転という形になる。
委員長 7番 木嶋	・これね、ちょっとでもリスクがあるんだったら、それを排除できるような取組をしなければならぬかなというふうに思うが。
防災交通課長 麻郷地	・天候の状況によっては、シャッターを閉めた状況になる。 発電機だけを外に出して、シャッターを閉めた状況になりますが、運転の際には地域の研修を通して、排気が回らないように十分に配慮した運転をするよう、監視も含めてするように周知していきたい。
委員長 7番 木嶋	・できれば、物理的な方法をとって確実に外に排気できるようにする取組は、当然お金もかかるかもしれないけど、人の命より重いものはないわけですから。 そういうところを配慮した形で、取り組めるようにした方がいいのかなというふうに思うし、ここだけじゃなくて他のところでもそのまま室内で運転させてしまう可能性もあるわけですよ。
防災交通課長 麻郷地	・そういう事故も実際に起こっているんで、そのあたりを点検の中にきちんと入れて取り組んでいくということが大事だと思うんですが。
委員長 7番 木嶋	・訓練を通して、その使用の仕方については十分に配慮したことと、委員長申したとおり、本別海については、換気の方法、今後ちょっとを改修が必要であれば、検討していきたい。
委員 一同	・他に質疑あるか。
委員長 7番 木嶋	・質疑なし
防災交通課主査 寺澤	議事2 その他 (1) 標津線代替輸送路線安定確保対策等について ・資料により説明 現協議会については、役割を果たしたということで解散することとし、生活交通路線として再出発する2路線の関係自治体である、中標津町、標津町、別海町で、新協議会を設立することとなる。 なお、令和6年度までは、標茶町はオブザーバーとして関与することになる。 また、新協議会における負担割合等については、再編ダイヤ確定後に関係自治体で協議する。
委員長 7番 木嶋	(2) 防衛省所管事業の実施状況について
総合政策課主幹 橋本	・資料により説明
委員長 7番 木嶋	閉会挨拶
	15:32 閉会